

(5) 英語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	通過率(%)	備考	
(1)聞くこと ア	①	(1) 日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	65		
		(2) 日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	54		
		(3) 日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	58		
(1)聞くこと イ	②	社会的な話題について、まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解している。	思・判・表	83	○	
(1)聞くこと ア	③	日常的な話題について、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	思・判・表	79	○	
(2)読むこと ア	④	(1) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の内容を正確に捉えている。	知・技	78		
		(2) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の内容を正確に捉えている。	知・技	87		
(2)読むこと ア	⑤	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取っている。	思・判・表	53		
(2)読むこと ア	⑥	(1) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の必要な情報を読み取っている。	思・判・表	22		
		ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の必要な情報を読み取っている。	思・判・表	69		
		イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の必要な情報を読み取っている。	思・判・表	70		
		ウ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の必要な情報を読み取っている。	思・判・表	86		
		(3) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	51	○	
(2)読むこと イ (2)読むこと ウ	⑦	(1) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	86		
		(2) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えている。	思・判・表	66		
(5)書くこと ア	⑧	(1)	① 与えられた情報に基づいて、適切な be 動詞を選んでいる。	知・技	49	
			② 与えられた情報に基づいて、適切な目的格代名詞を選んでいる。	知・技	70	
			③ 与えられた情報に基づいて、適切な前置詞を選んでいる。	知・技	35	
		(2)	① コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、一般動詞三人称単数現在形を用いた肯定文を書いている。	思・判・表	44	○
			② コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、What 名詞を用いた過去疑問文を書いている。	思・判・表	7	○
			③ コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、現在進行形を用いた肯定文を書いている。	思・判・表	24	○
(5)書くこと イ	⑨	条件に従って、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	思・判・表	31	○	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	62	55

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	備考	東青管内			西北管内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	(1)	内容の聞き取り		65	65	65	60	57	68	57	
	(2)	内容の聞き取り		57	57	47	50	46	57	49	
	(3)	内容の聞き取り		61	61	51	55	55	51	57	
2	話の概要の聞き取り	○	81	81	81	85	84	92	81		
3	必要な情報の聞き取り	○	80	81	71	73	74	80	69		
4	(1)	短い文章の読み取り		77	77	78	79	79	80	78	
	(2)	短い文章の読み取り		88	88	91	85	86	86	83	
5	必要な情報の読み取り		55	56	45	51	53	51	48		
6	(1)	短い文章の読み取り		26	27	14	19	19	16	20	
	(2)	ア	短い文章の読み取り		72	72	70	62	65	61	59
		イ	短い文章の読み取り		72	72	74	65	70	65	59
		ウ	短い文章の読み取り		86	86	85	87	89	86	85
	(3)	短い文章の概要の捉え	○	56	57	48	46	44	52	45	
7	(1)	短い文章の概要の捉え		85	86	79	86	88	87	83	
	(2)	短い文章の要点の捉え		67	67	64	66	66	74	62	
8	(1)	①	be 動詞の適語補充		52	53	39	44	41	42	49
		②	代名詞（目的格）の適語補充		71	72	71	72	70	82	68
		③	前置詞の適語補充		42	43	34	31	33	36	27
	(2)	①	一般動詞・三単現・肯定文の英作文	○	50	50	37	42	36	50	44
		②	What（疑問詞）の英作文	○	8	8	5	7	7	7	7
		③	現在進行形の英作文	○	25	26	19	23	21	28	21
9	条件に合うまとまりのある英作文	○	38	38	39	21	14	26	25		
教科全体				60	60	55	55	54	58	54	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内		三 八 管 内		県全体			
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
63	64	58	61	62	70	76	69	66	60	62	53	68	68	64	65
51	53	41	51	51	61	65	60	58	50	53	43	53	53	55	54
52	54	45	56	49	62	68	62	57	53	58	38	58	58	57	58
85	84	84	89	87	87	86	93	85	77	79	71	81	80	84	83
79	81	77	81	73	81	84	84	78	73	76	64	81	81	81	79
77	77	75	76	76	79	82	79	77	74	75	71	80	80	79	78
86	87	81	86	85	88	88	90	86	84	87	75	87	87	89	87
51	52	49	50	46	56	58	60	52	52	54	47	52	53	49	53
22	22	21	30	16	23	22	27	22	19	21	13	21	21	20	22
67	70	63	69	56	70	71	74	68	65	67	57	71	72	66	69
67	69	59	75	58	72	74	75	70	63	67	49	72	72	68	70
85	85	80	84	87	86	88	87	85	83	85	75	86	86	89	86
47	48	41	52	42	56	57	60	53	47	48	45	50	51	44	51
84	86	79	87	80	90	92	91	88	80	85	64	87	87	88	86
61	62	53	68	59	68	67	75	66	60	63	48	67	68	66	66
46	48	41	54	31	53	58	56	47	42	43	38	51	51	49	49
58	58	50	68	54	81	79	86	81	73	73	72	70	69	78	70
30	32	27	29	28	38	41	34	37	33	37	23	33	34	32	35
40	41	24	51	41	50	51	55	46	40	41	34	41	42	38	44
5	5	3	8	4	7	7	8	7	4	4	3	7	8	5	7
24	26	24	25	17	23	21	29	21	19	21	12	26	27	21	24
28	27	17	41	26	32	31	47	27	31	33	23	29	29	30	31
55	56	50	59	51	61	62	64	58	54	56	46	58	58	57	58

※通過率（%）は、「総正解数／総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号		通過率 (%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、 調査全体の誤答の割合とは異なる)
6	(1)	22	音楽が苦手／好きではない／できない(18.0) 無答(15.5) A B C 小学校の先生／生徒(5.5)
	(1)	①	49
③		35	ウher(40.5) エhers(18.0) アhis(4.0)
8	(1)	①	She/My sister like(10.5) 無答(8.5) My sister is like(2.5)
		②	7
	(2)	③	24

エ 今後の指導について

～読むこと～

○課題のみられた問題 ⑥

○出題のねらい

日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報及び概要を捉えているかをみる問題である。出題の意図は、相手に情報を伝える手段であるウェブサイトの記事から、自分が必要とする情報や、記事全体の概要を捉えることができているかを把握する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、繰り返される語句の省略に気付き、その内容を読み取る力、また、目的に応じて読み取る力が不足していると考えられる。

課題として、主体的に考えたり、判断したりしながら読み進めていくことができていないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、まとまりのある文章を最初から最後まで通して読む機会をできるだけたくさん設定する必要がある。意味が分からない言葉や表現があっても、意味が分かる言葉や表現をつないで文章全体の概要を捉える力を身に付けさせる必要がある。また、主体的に英語を読めるようにするために、読む目的を明確にして指導することが大切である。

指導例

目的に応じて、必要な情報や概要を捉えることを目指す指導

～单元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 7 World Heritage Sites Read and Think ②～

【指導の流れ】

1 読む目的を確認させ、学習内容や活動に見通しをもたせる。

学習活動 ALT(Ms. Green) からの電子メールを読み、単元の目標を確認する。



Ms. Green sent us an e-mail. She has a question.

【電子メールの内容】

Hi, how are you?

Do you know that my hobby is climbing mountains?

I climbed a lot of mountains, and I want to climb Mt. Fuji next year. Mt. Fuji is a World Heritage site, right? There are three kinds of the World Heritage: cultural heritage, natural heritage and mixed heritage. I thought that Mt. Fuji was a natural heritage, but it wasn't. Could you tell me why?



What is the question?



She thought that Mt. Fuji was a natural heritage, but it wasn't.



That's right. Please read about Mt. Fuji to answer her question.

ポイント

「ALTに富士山について教える」という目的を明確にする。

2 教科書 112 ページを、個人で読ませる。

学習活動 必要な情報に下線を引きながら読む。

ポイント

- ・デジタル教科書で、繰り返し本文を聞かせたり読ませたりする。(イヤフォン使用)
- ・必要な情報に下線を引きながら読ませることで、一語一語訳す読み方から脱却させる。
- ・文中で使われている代名詞が何を指すのか考えさせながら読ませる。

3 聞いたり読んだりした内容について、下線を引いた箇所等をペアで共有させる。



富士山は自然遺産じゃなくて、文化遺産なんだ。



For one thingとFor another。ここに理由が書かれているのかな。

ポイント

下線を引いた箇所について、内容面を全体で共有させる。



富士山が文化遺産である理由は見付けられているようですが、他にも伝えた方がいいことはないですか。

自然遺産ではない理由も必要だと思います。理由は、このWhyの後の部分にあると思います。



4 ALTに伝える英文を話させる。

学習活動① 自分のタブレットに録画する。

ポイント

- ・相手に必要な情報が伝わるよう、下線を引いた情報を基に話させる。
- ・教科書の挿絵や写真を示しながら説明させる。

学習活動② 録画した動画を視聴し合う。

ポイント

- ・必要な情報が抜けていないか、また、相手に分かりやすい表現になっているか、ペアまたはグループで話し合わせる。
- ・全体で共有し、内容面と言語面について指導する。(中間評価・指導)

学習活動③ もう一度、自分のタブレットに録画する。

※この後、録画した内容について実際にALTに伝えたり、電子メールで送ったりする言語活動を設定する。

5 学習を振り返らせる。

学習活動 振り返りシートに記入する。

ポイント

録画したものを見返し、1回目と2回目に変容したことなど、できるようになったことやその理由を記入させる。

～書くこと～

○課題の見られた問題 ⑧(2)

○出題のねらい

コミュニケーションを行う目的や状況などを理解し、対話が成り立つよう正しく英語を書くことができるかをみる問題である。出題の意図は、令和3年度の分析において課題が見られた、基本的な語や文法事項等の知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できるかをみる問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、誤答の原因として「対話の内容を捉えることができなかった」「内容を捉えたが、人称や時制、文法事項等を正しく用いて書くことができなかった」という2点が考えられる。

課題として、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で、基本的な語や文法事項等を正しく用いて書く力が不足していると考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、コミュニケーションの目的や場面、状況などを明確に設定し、伝えたい内容が読み手に伝わるように、言語材料を正しく用いて英文を書かせる指導を繰り返し行うことが大切である。その際、特定の言語材料だけでなく、様々な知識を活用させて英文を書かせる指導や、語や文法事項等の誤りを生徒自身に気付かせる指導（リキャスト、誤りのポイントをまとめたチェックリストやコレクションコードの活用等）を行うことが必要である。

指導例

語や文法事項等を正しく用いて書くことを目指す指導

～単元名 NEW HORIZON English Course 2 Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town～

【指導の流れ】

1 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握させ、学習の見通しをもたせる。

学習活動① JTE と ALT (Ms. Green) の対話を聞き、学習内容や活動に見通しをもつ。



How is your life in our town, Ms. Green?



It's OK, but I want to know how to enjoy our town better.

学習活動②

単元の目標と学習到達目標（CAN-DO リスト）を確認する。



この単元では、グリーン先生が休日に楽しめるような私たちの町のおすすめスポットを書いて紹介しましょう。これは私たちの中学校の「CAN-DOリスト（2学年）」の「書くこと イの『日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある英文を30語程度で書くことができる。』」に当たります。

学習活動③

ALT が楽しめる場所を探るため、ALT にインタビューをする。



I know you like eating. What do you like food?



What FOOD do I like? Hmm...Japanese food!



What Japanese food do you like?



What do you do last weekend?



Did you drive there?

What DID I do? I went shopping at ABC Store.



ポイント

- ・ALTをよく知るために質問させ、その後の「書く」活動につなげさせる。
- ・生徒の発話に間違いがあった場合、ALTのリキャスト（正しい表現に言い換えること）を受けて間違いに気付かせ、自発的に修正させる。
- ・インタビュー後は、ICTのホワイトボード機能を活用するなどして、得た情報を全体で共有させる。

2 意味のある文脈の中で、英語の特徴や決まりに気付かせ、理解させる。

学習活動① 情報を整理し、書く。【1回目】

学習活動② グループで、個々の英文について、内容面と言語面から気づきを共有する。



「和定食ランチ」があるこのレストランは喜んでもらえそうだね。

「選べる和定食」って英語で何て言えばいいかな？



popular ではなく、visited by many people を使っているんだね。

visited の前は is かな？ was かな？



ポイント

グループ共有後は、教師が中間評価・指導を行い、内容面での工夫や言語面での共通する誤りを取り上げる。その際、誤りを以下のようなコレクションコードリストにして提示することも考えられる。

sp → つづりの誤り vf → 時制の誤り ds → do 動詞 s 抜け be → be 動詞抜け

学習活動③ 教科書本文を読む。取り入れたい表現があれば下線を引く。

3 理解した特徴や決まりを活用させ、英語使用の正確さを高めるために書かせる。

学習活動 2 を踏まえて書き直す。【2回目】

ポイント

書かせたら、他のグループ及び全体で、内容面と言語面から気づきを共有させる。

4 学んだことを言語活動で再び活用して書かせ、学習を振り返らせる。

学習活動① 3 を踏まえて書き直し【3回目】、ALT に電子メールを送信する。

学習活動② 振り返りシートに記入する。

ポイント

振り返りの際は、「本単元でできるようになったことは何ですか。」「なぜできるようになったと思いますか。」等と視点を与えて、内容面と言語面で振り返り、変容を自覚させる。